



和歌山県 きしゅうてつどう

紀州鉄道

長い歴史を刻み続ける 日本で最も短い鉄道会社

和歌山県中西部の町・御坊^{ごぼう}に延びる2.7kmの路線で、「日本最短のローカル線」とも呼ばれている。距離では第2位の短さになるものの、他社乗り入れのない独立路線として日本一短い鉄道だ。途中、受験生に人気の学問地蔵

が祀られる学門駅を経て、御坊様として親しまれる由緒ある日高別院の最寄り駅西御坊まで、町の足としてわだちを刻んでいる。田畑や家並のなかをトコトコと行く小さめの気動車は、どこか懐かしさがたただよう。

鉄道事業部 今井さんの イチオシ SPOT

御坊寺内町会館は昔から変わらない街並みの寺内町にある施設で紀州鉄道に関する資料なども展示。昔の資料を眺めていると新たな発見があります。(西御坊駅より徒歩7分)



1. 地方民鉄フォトコンテスト2022 みんなでつ賞
2. 日高別院 文禄4(1595年)建立の寺。大御堂、太鼓楼などの由緒ある建物のほか、県の天然記念物となっている大イチョウも必見(西御坊駅)。
3. 学問地蔵 地蔵が祀られた学門駅。入場券付きの御守は受験生に人気。



日高別院写真／和歌山県観光連盟

